

First Hit

L20: Entry 31 of 51

File: JPAB

Jun 13, 1981

PUB-NO: JP356071022A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56071022 A
TITLE: PREPARATION OF POULTICE DRUG

PUBN-DATE: June 13, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KIMURA, JITSUZO

KIMURA, MISA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KIMURA JITSUZO

KIMURA MISA

APPL-NO: JP54146929

APPL-DATE: November 13, 1979

INT-CL (IPC): A61K 9/70

ABSTRACT:

PURPOSE: To prepare a poultice drug which can be applied for a long time and is effective to contusion, sprain, rheumatism, etc., by kneading and compounding garlic, an alcoholic solution, wormwood powder, moxa, egg white and wheat flour.

CONSTITUTION: Ground garlic is mixed with an alcoholic solution. The mixture is placed in a closed vessel containing used charcoal to remove the characteristic smell of garlic. Thereafter, the mixture is mixed with a small amount of wormwood powder, moxa, egg white, and medium wheat flour, and kneaded to obtain the objective poultice drug. All of the components are easily available. The moxa absorbs the water (the drug liquid) in the poultice drug and gets moistened state to prevent the leakage of the drug liquid and to retain the moderate moistness for a long period.

COPYRIGHT: (C)1981,JPO&Japio

First Hit**End of Result Set**

L21: Entry 2 of 2

File: DWPI

Jun 13, 1981

DERWENT-ACC-NO: 1984-084212

DERWENT-WEEK: 198414

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Wet compress prodn. - by mixing ground garlic with alcohol soln., and adding lotus powder, egg white and wheat

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

KIMURA J

KIMUI

PRIORITY-DATA: 1979JP-0146929 (November 13, 1979)

Search Selected

Search ALL

Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> JP 56071022 A	June 13, 1981		003	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP 56071022A	November 13, 1979	1979JP-0146929	

INT-CL (IPC): A61K 9/70

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 56071022A

BASIC-ABSTRACT:

Ground garlic is mixed with alcohol soln. A small amt. of lotus powder is added to the mixt. and simultaneously the white of an egg and wheat are also added.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS: WET COMPRESS PRODUCE MIX GROUND GARLIC ALCOHOL SOLUTION ADD LOTUS POWDER EGG WHITE WHEAT

DERWENT-CLASS: B04 D22

CPI-CODES: B04-A07D; B04-B04M; B10-E04D; B12-A07; B12-M02; D09-C;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M1 *01*

Fragmentation Code

M423 M431 M782 M903 P943 R041 V400 V404

Chemical Indexing M1 *02*

Fragmentation Code

M423 M431 M782 M903 P943 R041 V600 V645

Chemical Indexing M2 *03*

Fragmentation Code

H4 H401 H481 H8 M210 M212 M272 M281 M320 M416

M431 M620 M782 M903 M910 P943 R041

Chemical Indexing M6 *04*

Fragmentation Code

M903 P943 R041 R210

UNLINKED-DERWENT-REGISTRY-NUMBERS: 0245U

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1984-035721

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-71022

⑬ Int. Cl.³
A 61 K 9/70

識別記号

庁内整理番号
7057-4C

⑭ 公開 昭和56年(1981)6月13日

発明の数 1
審査請求 有

(全 3 頁)

⑮ 湿布薬の製造方法

41-1

⑯ 特 願 昭54-146929

⑰ 出 願 人 木村実蔵

北海道沙流郡門別町本町字緑町

⑱ 出 願 昭54(1979)11月13日

41-1

⑲ 発 明 者 木村実蔵

⑳ 出 願 人 木村ミサ

北海道沙流郡門別町本町字緑町

北海道沙流郡門別町本町字緑町
41-1

41-1

㉑ 発 明 者 木村ミサ

㉒ 代 理 人 弁理士 早川政名 外1名

北海道沙流郡門別町本町字緑町

明 細 書

1. 発明の名称

湿布薬の製造方法

2. 特許請求の範囲

にんにくの搾身にアルコール溶液を加えて混合し、この混合物に少量の薑粉末と艾を加え、と共に卵白と中力小麦粉を加えて混練一体とした事を特徴とする湿布薬の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は打撲捻挫、リウマチス、神経痛、胃腸疾患、肝臓、腎臓や心臓の疾患、痔疾、水虫等に作用する湿布薬の製造方法に関し、その目的とする処は各成分の材料入手が容易であつて簡単且つ安価に製造できると共に薬液が使用中に漏出したり、逆に短時間で湿布薬が乾燥してしまわない湿布薬を提供せんとするにある。

以下、本発明の実施例を説明する。

実施例

にんにく(搾身)	...	117 g
薑粉末	...	10 g
艾	...	40 g
卵 白	...	145 g
中力小麦粉	...	65 g

上記各成分を順次一品一品攪拌しながら投入し混練一体として製造する。

にんにく(搾身)は生にんにくを搾り出し、その搾身と搾汁とを併せたもの70gに対して25%アルコール溶液270gを加えて混合し、この混合物を消炭を収納した密閉容器内に収納して冷蔵庫で1週間程安置し、にんにく特有の臭味を除去する。

このにんにく(搾身)117gに対し、乾燥させ粉末とした薑を10g、艾を40g、卵白を145g及び中力小麦粉を65gを順次攪拌しながら加えて充分に混練一体として製造するものである。

艾は30cm~40cm位に生長した最も発育のよい

蓋をその上部三分の二位を摘とり、それを二、三ヶ月間日陰干し完全に乾燥させ、その後茎や葉柄を取り除き粉碎して糊にかけて仕上げる。

而して、使用に際しては本法による湿布薬を薄手の晒布やガーゼ等に約3mm程の厚さに引伸し敷布し、その上に薄手の布を被せ、これを患部に当て油紙等で掩い、然る後繃帯などで固定する。

本発明は斯様に、にんにくの搾身にアルコール溶液を加えて混合し、この混合物に少量の蓋粉末と艾を加えると共に卵白と中力小麦粉を加えて混練一体となすので、上記艾が湿布薬中の水分(薬液)を吸つて凝結状態となり、従つて使用中に薬液が漏出流亡したり当て布や繃帯等を汚染することがないだけでなく、患部の熱や体温等により短時間で湿布薬が乾燥してしまふ恐れがなくなり、長期に亘つて使用できる。

しかも、適度の湿り気を長期に亘つて肌(患部)に与えることが出来る為、使用感が良好で

あると共に、適度の粘性を保持し、各成分が患部より流れ出したり或いはバラバラになつたりなどのおそれは無く安心して使用できる。

又、各成分は簡単に手に入り、それらの各成分を単に混練一体とするだけである為、簡単且つ安価に製造できる。

依つて、所期の目的を達成し得る。

特許出願人 木 村 実 蔵

特許出願人 木 村 ミ サ

代 理 人 早 川 政 名

代 理 人 早 川 潔

- 3 -

手 続 補 正 書

昭和55年1月9日

特許庁長官 川 原 能 雄 殿

(特許庁審判官

殿)

補 正 書

1. 事件の表示

昭和54年 特 許 願 第 146929 号

2. 発明の名称

湿布薬の製造方法

3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

氏 名(名称)

木 村 実 蔵

4. 代 理 人

(外1名)

住 所 東京都文京区白山5丁目14番7号
早川ビル 電話東京(03)0531番代表)

氏 名 (6860) 弁護士 早 川 政 名

5. 補正命令の日付(自発補正)

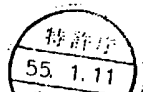
昭和 年 月 日

6. 補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の欄

7. 補正の内容

別紙の通り



- (1) 本願明細書第2頁第1～6行目を次の通り補正する。

「 実施例

にんにく(搾身)(脱臭済のもの)… 117g
蓋粉末 … 10g
卵白 … 145g
中力小麦粉 … 65g
艾 … 40g」

- (2) 同書第2頁第10行目「70g」を「10.5g」に、11行目「270g」を「106.5g」に、各々補正する。

- (3) 同書同頁第15～17行目を次の通り補正する。

「この脱臭済のにんにく(搾身)117gに、乾燥させ粉末とした蓋を10g加え、次に卵白を145g、中力小麦粉を65g、最後に艾40gを順次攪拌しながら加えて」

- (4) 同書第3頁第2行目末「養」とあるを「集」

と補正する。

- (5) 同書同頁第17行及び第18行に「長期」とある
を各々「長時間」と補正する。

以 上

特許出願人 木 村 実 蔵

特許出願人 木 村 ミ サ

代 理 人 早 川 政 名